

アジアの日本

平和・人権・教育・文化

アジア民衆歴史センター機関紙

APHC No. 41 2014年12月10日発行。連絡先・事務局 〒569-0824 大阪府高槻市川添1-3-20
久保井規夫 TEL:FAX 072-695-3210 Eメール aphckuboi@ybb.ne.jp 及び@yahoo.co.jp 携帯電話 090-5018-7939
所蔵庫・展示室所在地 〒766-0002 香川県仲多度郡琴平町49番地 象峰庵 久保井方 TEL:FAX 0877-75-2035/3644。

成功裏に終えました！本会が主催した

特別公開 **原史料より明らかになる日本と韓国の歴史**

10/7(火)~10/11(土) 大阪人権博物館(リパティおおさか)にて開催した

〈展示した国内外で初公開の原史料の概略〉

会期後、展示内容を少し補強修正し、現在は下記の通りである。12月の、「朝日新聞」の軍「慰安婦」問題検証結果の発表後や総選挙の結果によって、さらに補強修正を加えるつもりである。

1. 関東大震災と朝鮮人虐殺 内閣官房局「秘 震災に関する告諭諸達示通牒」には、政府・戒厳司令部・警視庁関係の公文書が網羅されている。朝鮮人虐殺の隠蔽、自警団、マスメディア、視察団、水平社、社会主義者への統制・対応が記されている(内務省警保局、吉河光貞「関東大震災の治安回顧」、吉野作造「圧迫と虐殺」などを補完する一級公文書史料)。後ろ手に縛られ虐殺された犠牲者の写真。「大震災画集」。「大阪朝日新聞」、「大阪毎日新聞」、発刊停止・没収の「神戸又新日報」「山形民報」等の報道による影響は過大である。当時の新聞や写真画報の原史料。東京帝大「帝都大震災火災系統地図」。戒厳司令部「大正震災写真集」。神奈川県「大震災記念写真帳」。日朝協会「民族の棘」や朝鮮大学校「関東大震災に於ける朝鮮人虐殺の真相と実態」には、目撃者による生々しい証言が記録されている。与謝野晶子、震災を歌う。田山花袋・壺井繁治・宮武骸骨の見聞録など、初公開の文献・写真多数。etc

2. 日本軍「慰安婦」 日本軍元「慰安婦」証言を裏付ける「慰安婦部隊」「永遠の哀号」等の手記や戦記「紅の翼」など、戦時の雑誌・写真に軍「慰安婦」たちの様子は数多く見られる。海軍主計官軍人として、慰安所を管理した**中曾根**元首相、**鹿内信孝**元産経新聞社長の手記は、軍の直接関与を物語る。軍医**麻生徹男**私家版「戦線女人考」では小学校が「慰安婦」臨検の場であり、軍直営と民間業者の「慰安所」を紹介している。軍管理・規定の「軍人倶楽部(慰安所)」。ボルネオへの「慰安婦増員要請の軍文書」。千田夏光の「従軍慰安婦」の東映映画化。抑留オランダ女性への「慰安婦」強要の陸軍**バタビア臨時軍法会議裁判**。一方、海軍**カンブリ抑留所**ではオランダ女性「慰安婦」強制的軍命令を拒否した史実が、**菊地政男**「白い肌と黄色い隊長」で、同名で松竹映画化されDVDもある。**田村泰次郎**の「慰安婦」を記した「蝗」「裸女のいる隊列」「春婦伝」。「春婦伝」を映画化した日活「春婦伝」・「暁の脱走」。ナヌムの家など証言のDVD。etc

3. 小鹿島療養所 日本統治下の韓国**小鹿島「ハンセン病」療養所**での人権侵害の実態。家族別離、断種・墮胎手術を強要した生存権の破壊や、虚妄の恐れ・穢れ、患者の使役・弾圧・収監など、日本内地の隔離施策と対比する。「小鹿島更生園年報」「文化朝鮮特集小鹿島更生園」に掲載された当時の写真を、パネルに作成した。「小鹿島更生園案内図」。朝鮮総督府検定教科書に載せられた小鹿島療養所。「朝鮮事情」「朝鮮年鑑」等の実態。現地調査で撮影した写真をパネルとした。「小島の春」「愛生園日記」「回春病室」。光岡健介の手紙。入所者の手記。DVD「小島の春」「海峡を越えた問いかけ」など、日本と韓国の対比。etc

4. 竹島=独島問題 竹島=独島を図示する韓国(朝鮮)・日本・欧米の古絵図・地図など初公開の原史料を展示し、領有権を明示する。特に、日本外務省が歴史的に日本領と証明するとして**長久保赤水**図が、実際は、竹島=独島が朝鮮領であることを示した史実を立証する。**元禄鳥取藩竹島一件**。日本政府が隠蔽する**天保浜田藩竹島一件**。浜田藩・長州藩の御用商人西村家文書。**八右衛門幕府取調書**。天保竹島一件の**異国渡海禁止の高札**。すでに、江戸幕府も、明治政府も、竹島を朝鮮領土と認め決定していたし、**韓国勅令**でも領土確認をして、領土問題は解決済みであった。その史実を日露戦争時に、日本が武力でなし崩しにした。海軍による**最古の竹島=独島の写真**、**監視所・海底電線設営工事**の写真史料は、露艦隊との海戦の戦略による領土強奪を証明する。露艦最初の発見の信濃丸所蔵の**水路図**(肝付兼行水路部長製作)は、竹島でなく「**リアンクールロック**」と記す。ウラジオストック露港と竹島=独島と日露海戦の戦略的位置関係。日清・日露戦争と韓国「併合」、戦後GHQ占領下・朝鮮戦争と、非常事態下で、両国が外交交渉による解決の道は閉ざされてきた。etc

特別公開 主催 アジア民衆歴史センター

原史料より明らかになる日本と韓国の歴史

原史料の所在が明確にされて、一級史料となる。証言やコピーに裏付け証明がなければ、三級史料扱いとなる。更に新史料が値打ちである。発表済み史料の引用では孫引きの感想に過ぎないからである。

〈国内外で初公開される原史料の一部図版〉



「戒厳令下の東京、萬世橋」大震災画集



「震災後夜警図、根岸方面」大震災画集



甘粕大尉が大杉栄惨殺



千田夏光原作・東映「従軍慰安婦」慰安所再現



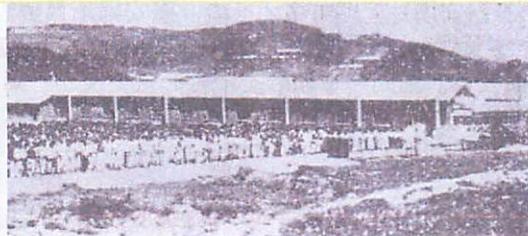
「慰安婦」を記した手記二冊の題名



戒厳令(露谷虹児画)



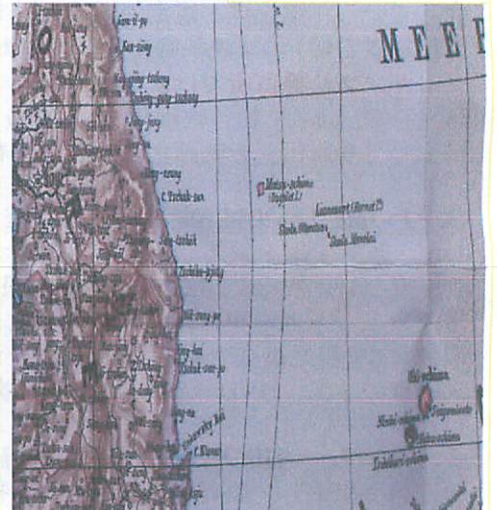
沖縄戦での慰安婦慰霊碑



小鹿島療養者の皇居遥拝
(朝鮮総督府教科書「中等教育修身書」)



断種手術台。結婚では、断種手術が強いられた。



1894年、韓国顧問、独人ヘッセ所有の韓国地図



江戸幕府が竹島・松島を異国渡海として禁じた高札(1837年)



竹島の東島の写真。1904年11月20日、軍艦対馬撮影

来春、東京で「パネル展示・学習会」の開催を企画

1. 展示・学習会をさらに広める課題

10月の大阪人権博物館に於ける特別公開は、延べ130余名の参加者があった。地元大阪近辺だけでなく、小樽・新潟・広島・淡路島・和歌山などからも駆けつけてくれた。何よりも、大阪人権博物館では総ガラス張の展示場があったからこそ、貴重な絵画・文献・生写真・地図の原史料も展示できた。

また、韓国からは、KBSテレビ放送局ドキュメント部が二日間にわたって取材し、「**独島=竹島問題、いま日本では**」というドキュメントにまとめて、来年3/1(日)独立運動記念日に放映することとなっている。取材中、KBS記者は、日本軍「慰安婦」問題



会場設営とオープンの記念撮影

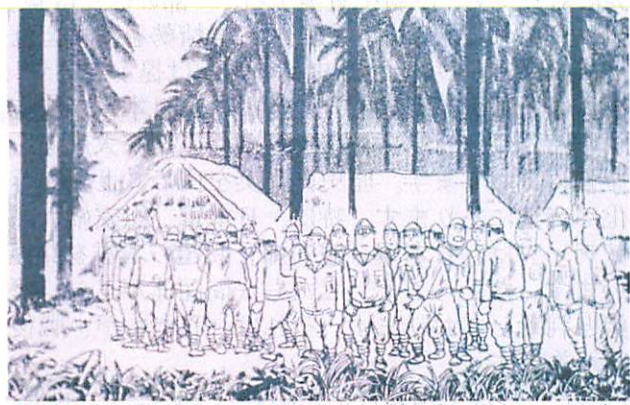
について、韓国側では想像しなかったような、マスメディアによる歪んだ報道に驚いたそうである。特別公開されていた「慰安婦」問題のパネルの内容は、韓国でも知らされていない為、本会が次に催す展示学習会を知らせて戴ければ、再び取材に訪れ、ドキュメント「**日本軍『慰安婦』問題、いま日本と韓国で**」を作成したいと申し込まれている。できれば訪韓して、パネルの内容紹介や韓国の運動団体との交流をしていただければ、すばらしいドキュメントになり、放映することで世論も高まり、「慰安婦」問題の解決に寄与できるので、検討して欲しいと提案されている。後日、連絡を取りたい。

2. 戦争責任・人権侵害である軍「慰安婦」問題を歪める策動に対して

八月、「朝日新聞」の「慰安婦」問題検証記事と誤報訂正、それを巡って、他紙・雑誌やテレビ番組からの激しい「朝日新聞」パッシングが続いた。このような戦争責任と人権侵害としての「慰安婦」問題そのものさえ否定しようとする策動と連動して、「検証!いわゆる『従軍慰安婦』」パネル展示なるものが各地で開催され、軍「慰安婦」に強制は無かったとの誤魔化しさえ行われている。

本来なら、「朝日新聞」が、日本軍「慰安婦」の実態を正しく検証・報道することが、パッシングへの最も的確な反論であるが、それも成し得ず、第三者委員会に検証を丸投げしたまま、「何時か収まる逃げ」の姿勢と捉えられかねないままである。僅かに、雑誌「DAYS」「世界」「週刊金曜日」の連載が解決への方向を示している。一部マスメディアの偏向した報道と違って、一貫しているのは、日本軍「慰安婦」問題解決全国行動や「女たちの戦争と平和資料館」など、日本軍「慰安所」被害者の証言に耳を傾け、戦争責任・人権侵害への政府・法的・人道的解決を追求してきた運動団体であろう。これらの団体は、中学生の為の「慰安婦」ミニ・パネル展を各地へ広めているが、従来通りの内容で、現在の策動への的確な反論を為し得ていない弱さがある。

3. 新史料と情勢に的確な展示・学習を展開していく!



ピー屋(慰安所)前の行列。水木しげる「玉碎者への鎮魂」

当然、大阪人権博物館展示ホールで、アジア民衆歴史センターが作成・展示したパネルへの期待・要望が高まった。八月の「朝日新聞」の「慰安婦」検証記事の弱さや他紙・雑誌・テレビ報道などの非難・虚報を糾すために、正しい歴史認識を追求するとして、的確に反論した内容の展示パネルを新たに追加作成したからである。ただ、既に用意していたパネルは、「図説 竹島=独島問題の解決」の広報・販売の為に、竹島=独島問題関係のパネルだけであった。しかし、八月の「朝日新聞」の「慰安婦」検証記事の弱さ、九月の関東大震災での朝鮮人虐殺を否定する虚偽、十月の韓国勅令と結んでの十月集会の意義と、次々と正しい歴史認識を広めねばならない課題

が浮上し、展示パネル作成の分野を増やした。

早速、同じような展示を此方でもしてもらえないかという要請がある。しかし、貴重で高価な原史料そのものを展示するのは会場が整は無ければ困難である。また、自作パネルは、宅配便での運送に堪えがたいので、**原則的に貸出不可である**。近距離の場合、運搬・展示を丁寧に扱う条件で、数日に限り、無償で貸出す所存である。また、原史料も、久保井が、解説・講演をする際には、持参可能なものは提示することを考慮したい。本会として、まずは、来春、東京での展示・学習会を企画することとした。

久保井 規夫

アジア民衆歴史センター主宰。「竹島の日」を考え直す会理事長

共催・協力の御依頼

アジア民衆歴史センター・「竹島の日」を考え直す会は、首都東京が、関東大震災の現地であり、政治・マスメディアに大きな影響があることを踏まえ、来春、次のような、正しい歴史認識を広める展示・学習会を企画します。貴団体の共催・協力を戴き、内容をより豊かで情勢に応えるものになりたいと考えています。よろしく御検討下さい。

展示・学習会 新史料により友好の確たる歴史認識を

……関東大震災と朝鮮人虐殺、日本軍「慰安婦」強制、竹島=独島問題の解決

1. **関東大震災での朝鮮人虐殺**が紛れもない歴史の真実であることを、戒厳司令部・警視庁・政府の公文書綴である、内閣官房局「**秘** 震災に関する告諭諸達示通牒」をメインに、当時の新聞・文献史料・絵画・生写真とともに提示して立証します。朝鮮人虐殺を記した公文書の公開は初めてです。
2. **日本軍「慰安婦」強制**では、韓国のオモニによる「慰安婦」を強制された証言を裏付ける、公文書・手記・戦記・戦犯裁判・生写真・映画を提示します。歴史を歪め、偽証呼ばわりをする「朝日新聞」パッシングに反論する、新史料と新たに作成した写真パネルを提示します。
3. **竹島=独島問題の解決**では、近世・近現代の日本・欧米の地図を提示する事により、日韓の領有権を明らかにします。貴重・高価な原史料の為、適切な展示会場が確保できない場合は、原史料をプロジェクター映写をします。竹島=独島の最古の写真や作戦時の地図が、日露戦争時の日本海軍省史料であったことは、竹島=独島の日本領有化が、日本海海戦とウラジオストック露港との戦略的関連を証左します。来春から、教科書で、「韓国が竹島を『不法占拠』している」との日本政府の主張のみを記述する偏向教育が展開される危惧を指摘し、日韓両政府の主張を掲載すべきとします。

此度、日本の情報中心である東京にて、**展示・学習会「新史料により友好の確たる歴史認識を」**を実施する事由は、次の通りです。日本現政府が、領土ナショナリズムを煽るために、史料の隠蔽や歴史の改竄が行われている、竹島=独島問題の解決の為です。また、日本軍「慰安婦」の強制や、地元の関東大震災に於ける朝鮮人虐殺という、歴史の紛れもない真実に対しても、侵略を賛美する、一部の歴史改竄・修正主義者による史料・証言の隠蔽・歪曲の策動が執拗に行われて、これらを糾すべき情勢を踏まえたからです。貴重な原史料は、常設展示はできませんが、解説時に持参可能な原史料の実物は提示します。

既に、日本現政府の策動は、教科書検定制度によって、領土教育の偏向した位置づけ、日本軍「慰安婦」の記述削除、関東大震災での朝鮮人虐殺の不記述、戦時強制連行・労働の記述削除、南京大虐殺を南京事件とするなど、史実を隠蔽し、歪曲させる策動を強めております。歴史の真実を広め、世論に訴える情宣活動が不足しています。マスメディアの右傾化が背景にあります。特に、日本軍「慰安婦」問題では、「朝日新聞」が記事訂正だけに終わり、マスメディアは、日本軍「慰安婦」問題の本質を見極め、史実をきちんと検証して報道する努力が不足しています。だからこそ、私たち民間団体が正しい歴史認識を広げ世論に位置付ける取組みを強めるべき情勢と判断しております。それは、私たちが、戦後培ってきた善隣友好・在日共生の社会を守り推進していく為です。

さて、会場確保を拙著「竹島=独島問題の解決」を刊行した、つげ書房新社にお願いしています。共催・協力を戴く団体の皆様と、会場・展示・講演・ブースなどご相談したいと思っております。一方的ですが、打合せ会の御案内を差し上げる都合で、貴団体にて共催・協力を御検討していただけるかどうか(御決定は、最初の打合せ後で結構です)の御連絡を、来年**一月末まで**にお願いいたします。御連絡いただいた団体間での打合せ会を来年**二月末頃**に行いたいと存じます。なお、**四月末**と仮定した展示・学習会のビラの裏面と、展示パネルの一部の概略を添付したので、御参考にしてください。

連絡先 〒569-0824 大阪府高槻市川添 1-3-20 久保井規夫

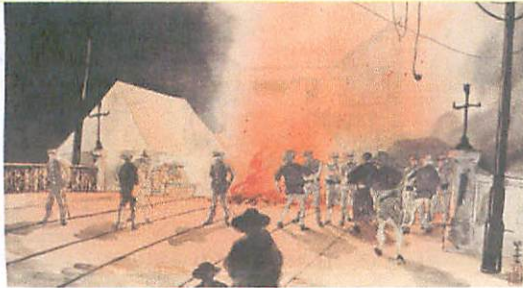
Tel・Fax 072-695-3210 携帯☎ 090-5018-7939 Eメール aphckuboi@ybb.ne.jp

4/25(土)~26(日) 会場 文京区民センター(都営三田線春日駅、メトロ後楽園駅)

展示・学習会 新史料により平和友好の確たる歴史認識を

わかりやすい図版史料を展示し、解説・講演の学習会を開催します。証言・事実を裏付ける新史料も多数提示されます。隣国への侵略・排外ではなく、平和友好の絆を取り戻しましょう。

<展示する分かり易い史料パネルの一部図版>



「戒厳令下の東京、萬世橋」大震災画集



「震災後夜警図、根岸方面」大震災画集



虐殺が記された公文書



千田夏光・東映「従軍慰安婦」慰安所再現



軍属扱いと証言



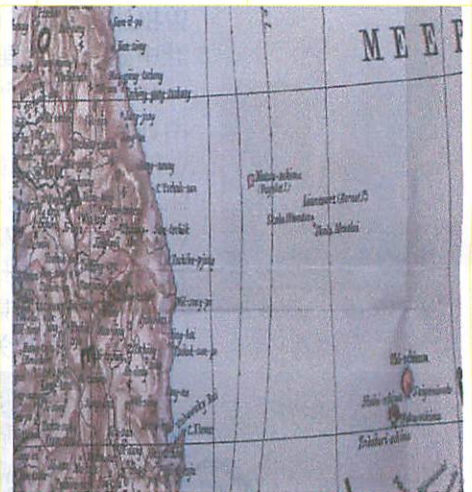
雲南で惨死した朝鮮人「慰安婦」



戒厳令(蔭谷虹兒画)



日本で働いた全羅北道女子勤労挺身隊(8歳から14歳)、帰国前に博多港にて



1894年、韓国廟間、独人ヘッセ所有の韓国地図。リャンクールロック(竹島)を韓国は周知。



江戸幕府が竹島・松島を異国渡海として禁じた高札(1837年)



露艦隊監視所設営の為、竹島調査。軍艦対馬撮影 1904. 11. 20

日本軍「慰安婦」強制 コーナー

新史料とパネル展示で、被害者の証言を実証する！

1. 千田夏光「従軍慰安婦」の東映映画化。「従軍慰安婦」のポスターとスチール写真。
2. 軍医麻生徹男「戦線女人考」。性病防止と戦力保持で、上海での、軍直営「慰安所」と、業者経営の「慰安所」とが対比して撮影されている。小学校教室にて、軍医による「慰安婦」の性病診察と朝鮮人「慰安婦」の存在。逃亡・自殺を図る「慰安婦」の実態も説明されている。
3. 戦時中国における日本軍占領地での、民間業者経営の「売春宿」「慰安所」の実態の写真。
4. 田村泰次郎の体験戦記「裸女のいる隊列」「蝗」に描かれた、拉致中国人女性や、朝鮮人「慰安婦」の過酷・悲惨な実態。日本兵から「朝鮮ピー」と蔑称されていた様子が分かる。歌人渡辺良三「歌集 小さな抵抗」。
5. 田村泰次郎が小説「春婦伝」で描いた、中国戦線での朝鮮人「慰安婦」の存在。それを映画化した「春婦伝」「暁の脱走」は、原作の朝鮮人女性であることを隠蔽したり、変更したが、反戦は貫いた作品である。
6. 「慰安婦」を「ピー」と呼んだのは何故か。「ピー」は中国語でSEXを意味し、侵略した中国占領地で日本軍が「慰安所」「慰安婦」に使用し始めた戦時性暴力の用語である。
7. 軍人倶楽部(慰安所)の規定。「慰安所」に対して軍が直接的な設置・管轄を行い、業者介入の際には協力・便宜を図ったことが分かる。



8. 日本軍による「慰安所」の設営・管理。陸海軍では主計官が担当し執行した。海軍主計大尉だった中曾根康弘(元首相)は、「慰安所を造ってやった」(「終わりなき海軍」)。同じく陸軍主計中尉だった鹿内信隆(元産経新聞社長)は、「ピー屋(慰安所)の開設……女の耐久度とか消耗度、それにどこの女がいいとか悪いとか」(「いま明かす戦後秘史」)と、恥知らずに語る。
9. 官妓の伝統を持つ妓生は「売春婦」ではない。妓生学校の様子。犠牲者金学順さんの証言。妓生学校出身者だから、「慰安婦」になって「当然」視する差別を糾す。
10. 「女子勤労挺身隊」は「慰安婦」ではな



鹿内信隆 (元産経新聞・フジテレビ社長)



女子勤労挺身隊は航空機増産!男子は特攻隊へ

い。日本と植民地で未婚の若き女性たち、約二十万人が軍需企業に就労した。朝鮮で就労する挺身隊の朝鮮女性の実態(朝日新聞社「戦ふ朝鮮」)。日本内地へ送られた全羅北道出身女子挺身隊の集団写真(何と8歳~14歳の少女たちである)。挺身隊呼びかけのポスター「わたしたちも飛行機を」。パネル三枚組。

11. 海軍特攻隊員の戦記「修羅の翼」。ラバウル下士官慰安所の慰安婦は朝鮮出身者だった。理由は、元山付近の女性が、日本内地への女子勤労挺身隊として徴用されたが、船中で「慰安婦」になることを強制されたからであった。

12. 日本軍が「慰安婦」集めを業者に直接に命令し、軍がそれに便宜を図った㊦公文書。北支・中支派遣軍への陸軍省兵務局「軍慰安所従業婦募集に関する件」では、誘拐まがいに女性を集め、警察沙汰になった事例も上げ、憲兵による業者の選別を徹底せよというものである。また、台湾軍から陸軍省への㊦電報は、南方派遣

軍(ボルネオ)への「慰安婦」集めや増員の為、憲兵選別の業者たちへの渡航や、「慰安婦」移送への協力要請である。

13. 「従軍慰安婦」と自ら名をのる 元日本人「慰安婦」鳴海さだの手記「慰安婦部隊」。「従軍慰安婦」が、千田夏光による造語との主張を糾す。海軍に、軍属扱いの特殊看護婦の名目で、何千人もが、「慰安婦」として、海軍の輸送船で南方各地へ送り出された様子が分かる。

14. 菊地政男「白い肌と黄色い隊長」。セレベスの海軍カンブリ抑留所のオランダ女性を、海軍上官から陸軍同様に若い女性を選別して「慰安婦」にせよとの命令が下った。これを阻止した抑留所長の証言であり、松竹映画化された。映画で



勝越で米軍に保護された悲惨な朝鮮人「慰安婦」

は、既設の慰安所の様子も描かれている。軍の直接強制であり、業者の介在は無い。DVDで上映可能である。

15. ジャワのスマラン駐屯の日本陸軍は、抑留オランダ女性を強制「慰安婦」とした。戦後、バタビア軍法会議法廷で、有罪判決された。軍の直接強制である。オランダ外相は、「強制売春そのものであることに何の疑いも無い。河野談話を継承せよ」と述べた(2014. 10. 3)。



勝越で米軍に保護された朝鮮人「慰安婦」



海軍カンブリ抑留所のオランダ女性

16. 元台湾特別志願兵の追想「猟女犯」。

船底には、捕獲された朝鮮・フィリピン・インドネシアの「慰安婦」たち。インドネシアの東ティモールで、現地の捕虜・拉致した女性も、「慰安婦」とされた。業者の介在は無い。

17. 米軍に保護された日本軍の朝鮮人「慰安婦」。ビルマ戦線での、ミートキーナと勝越とで、朝鮮人「慰安婦」の状況の対比。日本軍が撤退して遺棄されたミートキーナの「慰安婦」の実態を、歪曲派は「高額収入で、自由外出」できたから「性奴隷」ではなかったと情宣する。一方、中国雲南と結ぶ最前線の勝越では、日本軍は敗走し、遺棄された数名の負傷した「慰安婦」が保護された。悲惨な性奴隷である。最前線に業者の介在は無い。



「永遠の哀號」。拉孟で惨死した朝鮮人「慰安婦」。

18. 「永遠の哀號」。中国雲南と結ぶ最前線の拉孟には、日本軍は、米中連合軍の攻撃の前に玉砕した。国防婦人会を通して募集された特志看護婦と騙され、「慰安婦」にされた朝鮮人女性も惨死



最前線の拉孟にて惨死した朝鮮人「慰安婦」の遺体



奈良県柳本飛行場大和特攻隊「慰安所」跡

した。米国・中国軍に撮影された朝鮮人「慰安婦」惨死遺体。自衛隊⑧拉孟方面作戦・玉砕状況地図。2枚組。

19. 国内に設けられた慰安所。占領地での現地女性への「レイプ防止」の為の慰安所

の名目が崩れる。長野県松代大本営予定地。奈良県柳本特攻隊飛行場。米軍に保護された沖縄の朝鮮人「慰安婦」たちと慰霊碑。広島原爆韓国人被爆慰霊碑碑文に刻まれていた女性たちの被害。3枚組。



沖縄戦で、米軍に保護された朝鮮人「慰安婦」

初めて、公文書で明らかにされた朝鮮人虐殺！

関東大震災の朝鮮人虐殺 コーナー

新史料とパネル展示で、被害の史実を実証する！

大正十二年官房文書課記録係編纂「震火災ニ関スル告諭諸達示通牒」警察練習所

1. 関東大震災と朝鮮人虐殺(1) 「戒厳令」公布。自警団の取り扱い。流言蜚語・要視察人監視。要視察・要注意人監視。水平社団結を監視。大杉栄惨殺を隠蔽。

2. 関東大震災と朝鮮人虐殺(2) 罹災外国人保護。朝鮮人へ兇暴の挙。朝鮮人の保護・検束。要視察朝鮮人。虐殺朝鮮人の死体を隠蔽せよ。

3. 関東大震災と朝鮮人虐殺(3) 中国学生・商人の帰国。特高警察に加えて、朝鮮特高警察の登場。被害朝鮮人、虐殺目撃者を視察・監視せよ。朝鮮人被害を調査する者を取締れ。

4. 大震災の被害状況 写真スチール 12 枚。

5. 朝鮮人被害者 写真スチール 4 枚。

6. 各所の被災状況 日本橋付近。横浜正金銀行前。吉原遊廓の娼妓の惨状。

7. 被災状況 戒厳令(蒔谷虹兒画)。最大の被害、被服廠跡。

8. 関東大震災「大正震災画集」「深川方面」「本所方面、橋梁の炎焼」「戒厳令下の東京、万世橋所見」「隅田土手堤下の惨状」「其の夜の原宿」「根岸方面、震災後夜警団」「柳橋所見、花柳界の惨状」

9. 「大阪毎日新聞」(大正 12 年 10 月 20 日号外)。報道規制解除により、「各所で多数の朝鮮人を殺害。」の記事が報道された。

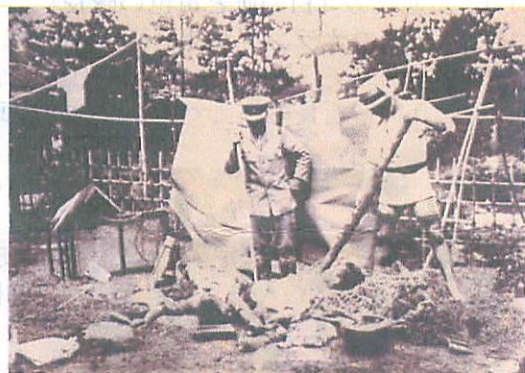
加害者が検挙された場合を規制解除したわけだが、それでも多数の朝鮮人虐殺が確認される。

10. 「新吉原遊廓花園池の惨状」。拘束されて避難できなかった遊女は、熱湯と化した池で惨死した。

11. 流言蜚語を増幅させたマスメディアの罪障。「大阪朝日新聞」、「大阪毎日新聞」、「神戸又新日報」「山形民報」等の発刊停止・没収された虚報による影響は過大である。「朝鮮人並びに社会主義者、相結束」「水源地に毒薬」「井戸

に毒薬」「不逞朝鮮人三百余名、爆弾を以て爆破、近衛兵と衝突」「射殺朝鮮人二百」「六千の囚人暴れまわり」「脱獄囚三百名、不逞の徒と合して暴虐」などと嘘八百の虚報で、朝鮮人虐殺を煽った。

12. 被災者と朝鮮人虐殺の状況。東京市被災実態や東京帝大「帝都大震災系統地図」には、公けの被災者統計が記載されている。後ろ手に縛られ虐殺された犠牲者の写真。宮武骸骨。吉野作造「圧迫と虐殺」。吉河光貞「関東大震災の治安回顧」。日朝協会「民族の棘」や朝鮮大学校「関東大震災に於ける朝鮮人虐殺の真相と実態」には、被害の場所・人数とともに、目撃者による生々しい証言が記録されている。



朝鮮人殺害場面とされる写真



横浜正金銀行前の焼死体



吉原遊廓の池で惨死した累々たる遊女の死体

編集後記 「函説 竹島=独島問題の解決」の著述に続いて、大阪人権博物館での展示資料の作成に追われて、機関紙の発行が滞り申し訳ございませんでした。続けて、次号は新年早々に発刊します。話題の日本軍「慰安婦」問題については連載します。なお、所蔵史料の紹介と分析という機関紙の内容は掲載しますので、楽しみにしてください。